

観光振興対策特別委員会会議録

1. 日 時 平成20年9月12日(金曜日)
午前9時40分～午前11時50分
2. 場 所 委 員 会 室
3. 出席委員 安 富 法 明 委 員 長 下 井 克 己 副 委 員 長
徳 並 伍 朗 委 員 村 上 健 二 委 員
布 施 文 子 委 員 荒 山 光 広 委 員
岩 本 明 央 委 員 山 中 佳 子 委 員
秋 山 哲 朗 議 長 河 村 淳 副 議 長
4. 欠席委員 な し
5. 出席した事務局職員
重 村 暢 之 局 長 佐 伯 瑞 絵 係 長
佐々木 昭 治 係 長 田 畑 幸 枝 企 画 員
6. 説明のため出席した者の職氏名
林 繁 美 副 市 長 山 縣 博 行 総 合 観 光 部 長
山 本 勉 総 合 観 光 部 観 光 総 務 課 長 篠 田 清 実 総 合 観 光 部 観 光 振 興 課 長
兼 重 勇 総 合 政 策 部 長 佐 々 木 郁 夫 総 合 政 策 部 企 画 政 策 課 長

午前9時40分開会

委員長（安富法明君） それでは第2回観光振興対策特別委員会を開会いたします。最初に先月8月19日に、火曜日に市内の主要観光施設の視察を行っております。これに関するご意見ご感想等があると思いますので、この件につきましてを議題としたいと思います。ご自由にご発言をお願いいたします。特にありませんか。布施委員さん。

委員（布施文子君） こないだ見たのは全体の半分ぐらいだと思うんですね。まだまだ観光のルートとして、スポットとして行ける所がたくさんあると思いますので、ここは一応委員会としてももう少し抜けた所を見て歩かなくてはいけないと思いました。

委員長（安富法明君） はい、わかりました。次、他に。徳並委員。

委員（徳並伍朗君） 各地を見て回ったんですが、率直な意見としてですね、美祢市の化石館、それから旧美祢市の歴史民俗資料館、そして旧、秋吉台の科学博物館ですか、この三つを見たんですが、やっぱり秋芳洞の観光の目玉ということにするならば、その三つを一つにしないと、バラバラではですね集客力がないような気がします。ですから秋吉台科学博物館、あれは非常に大変古いわけですが、あそこに今の化石館あるいは歴史民俗資料館等含めて集約するような施設を作ったら、かなりの目玉になるんじゃないかなというような気がいたしました。これは先のことかもしれませんが、しかしこの委員会とは直接関係ありませんが、今後、美祢市で考えておった保健福祉センターのことについてもですね、段々市内の建物を統合、あるいは廃合しながらですね、やっぱりそういうことも考えていかななくてはならないというふうに思っていますので、これも即すぐにとすることはできませんけれど、見た感じではですね、非常につくづくと感じがいたしました。

委員長（安富法明君） 他に。荒山委員。

委員（荒山光広君） 8月19日に、私久し振りに秋芳洞の中に入れていただきましたけれども、今回いろいろと市民の皆さんからも秋芳洞の活性化についていろいろなご意見があるわけなんですけれども、あそこの広谷の商店街も通ってみて、昔と言いますか、私達が小さな頃に通った頃と非常に活気が違うなということも感じますし、どうでしょうかね、巷ではですね、上に抜かなくてですね、観光客の皆さんを往復でやってはどうかというお話をずーと聞いておりまして、しかし実際に

8月19日に入ってみてですね、結構混雑と言いますかね、やっぱり上り下りであるの狭い道をですね、すると非常に混雑するなど。8月19日は盆明けで、ゴールデンウィークとか盆とかのピーク時とは違って少し少なめのお客ではありましたが、それでもあの狭い道を上下ですれちがうというのは非常に危険も伴うなど、実際に行ってみて感じたわけなんですけれども、あそこを入口と出口を一緒にするという事になればですね、少し設備的に検討せんにゃいけん問題も具体的にあるのかなという感じを受けました。これは安全面ということからですね。理屈的には広谷商店街を入れて出てくればですね、帰りにいろんな買い物等もできるという理屈は理屈で理解できるんですけど、現実的な問題としてですね、そういった安全面とかそういうものを感じました。それから養鱒場ですかね。あそこで昼食とらせていただいたんですけども、確かに養鱒場ですから鱒料理中心というのはですねいいんですけども、例えば家族連れとかですね、いろんな集団でのその旅行等で来られた時に川魚がどうしても食べれないという方も中にはおられると思うんですよ。だからメニュー的にですね、鱒中心というのは理解できるんですけど、メニュー的にそういった川魚がどうしても食べれないという方のためのですね、配慮も少し要るのではないかなという感想を得ました。それから博物館等については徳並委員さんの方からも話が出ましたが、この秋吉台科学博物館のできた経緯というのは皆さん既にご承知のことと思いますけれども、戦後秋吉台が演習場になるという話で、それを阻止するために地域住民の方が力を合わせて作られたという経緯があると聞いておりますけれども、それからかなりの年月が経ちまして、行ってみますと、その資料的にはすばらしいものがあるんでしょうけれども、施設のですね、どうしても限界かなという感じを得ました。先程徳並委員さんからも話がありましたように、その旧美祢市の化石の資料もですね非常に素晴らしいものがあるわけで、これも施設の展示するのにも非常に手狭な部分もございます。今後その辺をどうしていくのかというのも一つ大きな課題だろうというふうに感じました。それから長登銅山にも行きましてですね、ここも非常に歴史のある施設と言いますか、場所ですけど、今から資料館みたいなものも具体的に建てられるという計画も聞いております。旧秋芳、美東、美祢含めてですね、いろんな素材が各地にあるなということを改めて感じさせていただきました。布施委員言われるようにもっともっと旧美祢郡内にはたくさんのものであると思いますので、今後また機会が

あれば各地を見てみたいなという思いをいたしました。以上でございます。

委員長（安富法明君） ありがとうございます。一つ今荒山委員さんのお意見の中にあつたんですが、約1キロ秋芳洞内あります。往復すると2キロになります。長登とかの件もそうなんですが、ズーと観光施設が広い市内に点在してですね、予定したものが全部見られなかったというのは、広いということじゃろうと思うんですね。ですから、そういうことも十分それぞれの施設でのそういうふうなこと、あるいは施設間のアクセスと言いますか、時間かかるということも考えていかにやいけんテーマだろうというふうに思いますが、他にご意見がありますでしょうか。

はい、山中委員。

委員（山中佳子君） 今回は秋吉台、秋芳洞を中心に回られたと思うんですけども、皆さんが秋芳洞に行かれて先に気付かれたのが、営業をやめた店舗が廃墟みたいな感じになっておりまして、台上にもやっぱり営業をやめたホテルというのがありまして、それが景観をそこねているじゃないかというような意見が大変多かったと思います。それをどのようにして取り除くか、その後のそれを活かして利用するというのももう無理じゃないかと思しますので、景観の観点からまず、そのあたりからきちんとされないと秋芳洞地域の活性化というものはまた難しいんじゃないかなと感じました。

委員長（安富法明君） はい、他にありませんでしょうか。はい、布施委員。

委員（布施文子君） シャッターの下りた点についてですけど、シャッターを差し当たりすぐ取り崩すというようなことはできないし、時間かかると思うんですね。よそから来られるお客さんは毎日のことですから、あのキャンパスにしたらいんじゃないか、差し当たり。大学の、芸術大学の学生さんたちにしてもらって、何か楽しいキャンパスにして、一時しのぎという方法もあるんじゃないかなって思いました。

委員長（安富法明君） 絵を描くということですね。他にご意見はおありでしょうか。下井副委員長。

副委員長（下井克己君） この前これだけ、ここに書いてある所に行ったんですけど、まだ残り先程布施委員が言われましたようにたくさんございます。それをまず見てまいりたいというのがまずあるんですけど、それと今美祢市の中に化石館、民俗資料館等たくさんあります。全てが点になっていると思います。これをど

ねいか動線をつないで修学旅行等で勉強できるものはそういうコース、動線をピシッとして、これを行ったら次にはこっちにいかんと話が續かんというような、そういう動線も考えていくべきではないかと思います。だから今の三洞って言って、秋芳洞、大正洞、景清洞って三つ、三洞って呼んでますけれども、それも三つ行って初めて一つの洞窟を回ったというような、先程から申しますように、動線をピシッとするべきではないかということを感じました。以上です。

委員長（安富法明君） はい、ありがとうございました。その他にご意見が。岩本委員さん。

委員（岩本明央君） 私は感じた、また思うたこと、だいたいあったんですが、その辺のことを執行部、例えば徳並委員さんが言われたように、三つをどうか、樽氣的な展望とか、今の売店のあーいう問題なんか、そういうものは執行部としてはどのようにお考えかというのは、この席ではどうなんですかね。

委員長（安富法明君） いや、いいですよ。

委員（岩本明央君） もしあれば、別に、追及したりどうこうではなくて、そういう意見があるけど、将来的な展望とか長期的な計画はどうかというのは、言いはなしじゃいけんしね。意味がないし、もしご迷惑でなければ。

委員長（安富法明君） 林副市長。

副市長（林 繁美君） 岩本委員さんのご質問ですが、やはり合併した効果は、やはりこういった点在する旧所名跡等あろうと思います。特に今問題になっています科学博物館と化石館等の関係ですけれど、やはりこれ将来ですね、そういった生き目のいくって言いますか、やはり目玉となる施設等も必要にはなるかとも思います。ただ予算的な問題もありますし、やはり将来的な展望としての観光の計画とか、総合計画等に位置付ける必要もあるのではなからうかと思っています。

委員長（安富法明君） はい、よろしいですか。はい。他にありませんでしょうか。議長さんとか副議長さんよろしいですか。河村副議長。

副議長（河村 淳君） なけんにゃ、ちょっと意見をちょい言わせてもらおう。この観光問題についてはですね、私も旧美東町の観光協会の方におったんじゃが、観光協会との関連がこれまたあるんじゃが、あくまでもこれ自治体がやりよるんじゃけど、ある程度企業的な頭でなけんにゃ駄目なことであって、要は観光客を秋芳洞もある大正洞、景清洞、サファリもあるが、トロンもあるが、要は共通券というも

のを出して一つ券を買ったらどこでも回られるというような方法がこの委員会で討議されたかされんか知らんが、観光協会の方ではその辺が論議をされた経緯が今まであります。今秋芳洞とサファリはちょっとその辺のことをやられちよるといような話もちょっと聞いちよるんじゃが、要はそこで観光客を美祢市から逃げさせんと、一時、一日はぐっとゆっくり一晩ぐらい泊まって、次の日もやるぐらいの観光客を停めることを考えんと、すーとすぐ逃げるといことでは発展はないと私は思います。以上、私の考え方を一言言うときます。

委員長（安富法明君） はい、今ですね、今日前回視察をしましてですね、今回が2回目で皆さんのご意見も今日初めて集約っていうか、伺っているところですから、またこの委員会もですね、具体的に皆さんの意見が出揃っておるとかといような状況に今副議長さんありません。今からでございますので、またご意見がございましたら、よろしくお願ひします。議長。

議長（秋山哲朗君） 私も8月19日に途中まで付いて回ったわけですけども、やはり先程からお話しが出てますように、広谷の商店街、どうか活かす方法はないかなといふうなことで、自分なりに考えた中でですね、あそこに商店街の中に、ちょっとど真ん中に洞から出る水を引いて、あそこで鱒を流したらどうかなといふ自分なりの発想もしたわけでございます。そして秋吉台ですよ、これはちょっといろいろな問題があるように聞いておりますけれども、やはりハングライダーとか、気球をですね、台の上に飛ばしたらどうかなといふうな発想もあります。そしてもう一点、今日山本課長あそこに居りますけれど、せっかく美東町にトリュフが出たといふ話がいつか新聞に出たことがありますけれど、一回新聞に出ただけで、なんら効果が出ておらない気がしております。やはり三大珍味といふなかでですね、黒トリュフが出るといふことは利用せん手はないなと気がしておりますので、その辺のアイデアをもう少し出されたら、もっともっと地域の、本当の地域の物ですから、活かされた観光につながってくるんじゃないかなといふ気もしております。

委員長（安富法明君） 執行部のほう何か意見がありますか、答弁が。山本課長。山本課長何かトリュフについてのその後についても、難しいところがあるんでしようね。座ってどうぞ。

総合観光部観光総務課長（山本 勉君） 今議長さんトリュフのことお話されまし

たけれど、このトリュフにつきましてはですね、一応トリュフクラブというクラブがですね、できております。このほうでいろいろとトリュフの研究なりトリュフの管理ですね、そういうものを今やっております。このトリュフということですね、あんまりにも前面に出すということになりますと、若干きちっとした整備をしておかないと、乱獲とかですね、用語だけが表に出ますので、そういう部分も含めてですね、地域のイメージアップという観点からはですね、非常な大きな素材になるかと思っております。今後ですね、その辺も含めてですね、考えていきたいと思っております。

委員長（安富法明君） 他によろしいでしょうか。徳並委員。

委員（徳並伍朗君） ちょっと前にテレビで見たんですけど、アメリカで世界遺産になっているそういう洞なんですけど、その中でレストランやっているんですね。そこはですね、1年以上前から、もう予約が一杯だと。洞の中でレストランをやっているわけです。それは世界遺産の前にレストランやっていたのか、世界遺産、あとからなったか知りませんが、現実にそういうのがあるんですね。こういうのもですね、やれば恐らく半年1年先までのお客がですね、予約ということになるのではないかなと思っております。とにかくいろんな情報を仕入れながら、トリュフも一緒ですけども、あれも一時期嘘じゃないかなというような、あっちこっちからどんどん出たというようなことですね、嘘じゃないかなということですけども、本当だったということだった、食べたことないですからね、分かりませんが、それもちゃんと整備されてそのようにされれば、非常に秋吉台で、その近辺で採れるトリュフをですね、秋芳洞の中のレストランで食べるということになれば最高だろうというふうに思いますけれどもね。

委員長（安富法明君） はい、ありがとうございました。他に、ご意見感想等がございませんでしたらね、とりあえず先月8月19日に行いました市内の主要観光施設に対するですね、件はこれで置きたいというふうに思います。今出ました中で、特にですね、まだ十分、極く一部しか、計画したものの半分ぐらいしか見られておりませんのでですね、今後残りの施設等についての視察を計画したいというふうに思います。徳並委員。

委員（徳並伍朗君） 今後視察をするということで要望なんですけれども、長登銅山の跡地、前行きましたけれども、あれは現地で遺跡ということではなくて、その施設

って言いますか、行ったんですが、この前教育福祉委員会では全部上まで上がって
みたんですよね。すごいものがあるなと思っておりますし、あれもですね、非常に
歴史から含めた大変なものだなと思っておりますけれども、もう一回見てですね、
これをみんなで感動したらどうかと思っております。非常に銅の跡の精錬した後の
スラブと言いますかね、いろんなものが出ておりますが、非常に立派なものです
し、銅を取った穴と言いますかね、今も大きな鍾乳洞とは言いませんけれど、かな
り奥まで入られる状況ですので、もう一遍見ていただければと思います。

委員長（安富法明君） そういうことになりますとですね、また一日ではとても、
山登りをするとになりますと叶わないと思いますし、布施委員さんの一般質問等で
ですね、化石の採集場の設備の改善等の意見も出ておりました。これ一度見ておかな
いとはですね、どのように改善をするのか、何が不便なのか、何が問題があるのかと
ということがわかりませんし、そういうふうなことも含めて何日かかけてやるよう
なことになろうかと思いますが、よろしいでしょうかね、その辺はですね。了解して
いただいて、よろしく申し上げます。

それではですね、次第の2番に入りたいというふうに思います。本委員会のです
ね、主な目的はですね、執行部がですね、美祢市としての観光振興計画を、これを
立てることになっております。これとですね、本委員会の審議と言いますか、調査
等が並行して行われることが望ましいのではないかというふうに思っております。
したがって、観光振興スケジュールを、今後の振興計画のスケジュールです
ね、進め方。これとですね、体制等について説明をお願い、執行部の方の今の現状
でのお考え、予定についての説明を求めたいと思います。どなたから。はい、山縣
部長。

総合観光部長（山縣博行君） それでは観光振興計画につきまして執行部の方でど
のように今後のスケジュールがあるかという。

委員長（安富法明君） 山縣部長、着席してやられてもよろしいです。

総合観光部長（山縣博行君） それでは、この観光振興計画につきましては現在市
のですね、総合計画を総合政策部の方で計画をいたしております。この総合計画と
かけ離れたような振興計画ではいけないということでございまして、これの整合性
を考えまして、一応作成する必要があるということでございます。総合計画の日程
につきましては今お手元に予定表をお配りしておりますが、その日程で8月にです

ね、プロポーザルによりましてコンサルタントが決定いたしております。現在策定作業に入っておりますので、具体的なことって言いますか、そのことにつきまして総合計画の中で、観光振興計画も総合計画の中で示されてくるのではないかなというふうに思っておりますので、その示された時点で、ある程度決定をした時点でその振興計画なり進めていきたいなというふうに考えております。市長の政策の意向といたしましても、希望のある、夢のあるまちづくり、そうした観点の中で観光振興を考えていきたい、一つにはそういうことがございます。もう一つには広域的な視点、やっぱり美祢市のみでは現在の秋芳洞の、山口県の中の観光というものを考えた中で観光振興計画を図っていく、そういうことも市長明言を致しております。こうしたことから総合観光部といたしましてもこうしたことの実現のために、今後ある程度のコーディネーター等の召喚を行いまして、観光というものに対します地域の温度差、そういうものがやはりあると思いますので、観光立市の一体感というものを、その醸成をしていきたい。今年、今年度でその一体感というものを醸成をしていきたいというふうに今のところ考えております。それに係る一応の予算的なものもわずかではございますが付いておりますので、活用していきたいというふうに思っております。体制についてはございますが、ある程度意識の一体感を行うためにできればそれぞれの地域でその観光風土と言いますか、そういう意識を同じレベルにやっぱり、時点から同じことを考えていく観光を、まちづくりのレベルから考えていければというところから、後援会等そういうものができればですね、やっていけたらなというふうに思っております。まだ組織的なものはまだできておりません。はい、以上でございます。

委員長（安富法明君） はい、具体的に何も無いということじゃね。具体的にはね。今の答弁と言いますか、執行部の方のお話なんですけど、具体的には今の段階ではないということなんですけど。お聞きのとおりなんですけど。委員の方から何か質疑がございませうでしょうか。はい、布施委員さん。

委員（布施文子君） 今の説明で今年度で一体感を醸成していきたいと、一体感の醸成というのはどういうふうな、具体的なことを考えてらっしゃるのか。

総合観光部長（山縣博行君） 新市の観光ということに対しまして、新市の基本計画の中で観光はいわゆるリーディング産業であるというふうな位置づけをされております。そして秋吉台、秋芳洞周辺を中心とした、あそこが核になるということは

もう、そこを核にして観光というものを、全体の観光意識を持っていただく。一般の市民の皆さんにそういうふうな意識をですね、少しでも持っていただく。観光地ですね、道を聞かれた。極端な例は、例えば道を聞かれた時に市民の皆さんはどういうふうなお答えをされるのか。おもてなしの心でその親切に答えていただけるのか、あるいは知らん顔をされるのか。そうしたことをですね、一つずつ積み重ねていながらその将来的な観光立市として、全体として観光を中心としたまちづくりというふうなものができればという、そういう意識改革ということでございます。

委員長（安富法明君） はい、布施委員。

委員（布施文子君） お考えは良く分かるんですが、具体的にそれではどういうことに取り組んでいくのか。

総合観光部長（山縣博行君） 今、総合観光部の方で少し、コーディネーターの方とか講師の方とか、県全体でいろんなところで活躍をしておられる先生に打診しておりますけども、そういった方に来ていただきまして、執行部ももちろんですが、市民の皆様、ある程度地区、美祢市、旧美祢市あるいは秋芳町、美東町、それぞれの地域で講演をやっていただいたりですね、そうしたもののの中から、やはり今後の観光というものは、今観光自体がですね、昔の観光というよりか、新しい観光の中に入ってきている、そういう新しい意見をですね、聞かせていただけたらというふうなことを思っております。

委員長（安富法明君） よろしいでしょうか。もう一つ具体的なものがないから執行部も弱っておるんだらうと思うんですけれども。はい、どうぞ。

委員（布施文子君） 観光行政はやはり民間の力を借りないと観光産業まで入ってきますので、とにかく今のコーディネーターがどういう方が良く分かりませんが、ただ講演をしていただくだけでなく本当にいいアイデアを出してくださる。それについていけるような、ルートが引けるといような、やはり私達はどちらかと言えばどنگりの背比べで、さほど飛び抜けたアイデアを持っているわけではありませんので、いろいろな取り組みにアイデアをいただくということは大切なことだと思います。そういう面でやはり民間の力をしっかり借りていっていただきたいというふうに思います。

委員長（安富法明君） はい、副議長。

副議長（河村 淳君） 皆さん無いようだから私経験談を話をして、これを執行部がどのように考えられておられるか、ちょっと聞いてみたんじゃが。私が観光課長をやりよった頃ですね、サファリと大正洞、景清洞をセットで、協定書を作って、その時は議会からも私は外されたんじゃが、そねいなことはできるかっていうことでやったんじゃが、その時に兼重課長は、後の方の時に課長になったんじゃが、その当時、50何年頃にゃ、サファリに入った人は、方法とすれば、サファリに入った人は100円全部下さいと、その代わり大正洞、景清洞はタダですよと、こういう仕組みのアイデアをやった。そうするとどっさり80万人ぐらい、多い時は100万人位来よったが、サファリに。そうするとは一そこで1億円なり金が入りよった、何もせんと。100円もらうそで。それで大正洞、景清洞は二人しか、アベックとかなんとか来る人はいずれも、そのタダではなしにそのかわりサファリに入らんと、そのかわりサファリに入らんにゃいけんのやけど、入らんと、とにかくサファリに入いった人はとにかくタダにしたわけ。こうしたアイデアをしたとこに、1億から赤字があったんじゃが戻ってきた。戻ってきて3,000万円位になったでしょう。それで山口県が県の代表として私を島根県の白兔会館に全国大会に講演にきてくれということじゃから行ったんじゃが、そういうアイデアを職員がじゃね、結局商売人にならんにゃ駄目、観光というのは。つい行政でなんとかじゃつまらん。条例等があるから、よう考えてみるとそりゃ団体客なら、もう普通なら600円というところを300円でもええ。来てもらわんにゃ駄目なんじゃから。それと産業、結局観光産業の発展というのが商店街の。人数が来んにゃ、ぜんぜん儲かりゃへん。そうふうなアイデアは執行部の方も考えておられるかおられんか、その辺を聞いてみたい。

委員長（安富法明君） 山縣部長。

総合観光部長（山縣博行君） 今、大変先進的と言いますか、ご意見いただいたんですが、サファリとはですね、以前と同じような継続で共通券を発行いたしております。それとこれから今エコツアーというのをですね、秋吉台を中心として仕掛けをいたしております。これが今春夏秋、冬はちょっと休んでおりますけれど、日曜たんびに20名ですが、ある程度そういうものをどんどん作っていく。そうした中で今としては来ていただいているだけです。秋吉台のすばらしさと言いますか、その中でエコツアーを楽しんでいただいているだけですから、皆さんにも今秋芳洞ぜ

ひ入っていただける、そしてそれがどうにかならないかなという工夫も今検討もいたしております。だから、その中でかなりの皆さんがですね、秋芳洞に来ていただける。それから今言われるような産業観光の部分とも兼ね合わせた中で、産業観光の皆さん、一つの商品としてのコースを作っていくと、その辺のところも今検討いたしております。具体的にじゃ今言われましたように、その1億儲かるというような画期的な案はまだ出ておりません。

委員長（安富法明君） よろしいですか。はい、徳並委員。

委員（徳並伍朗君） このレジюмеというのは観光振興計画策定スケジュール及び体制についてということですが、これ委員長さんが作っていただいたんですけど、さっき執行部の方からの話では、プロポーザルでいろいろやるとか、講演会やるとかということですけど、結局スケジュールはどうなんですか。体制はどのなの、それが、いくらか予算が付いたというんなら、それも決めてやるべきだろうと思います。丸投げにするのか、そうではないだろうと思うわけですが、そうなるこのスケジュールとか体制についてももう恐らく執行部で話がされたというふうに思っておりますが、それをちょっとお聞かせをいただきたいと思っております。

委員長（安富法明君） 山縣部長。

総合観光部長（山縣博行君） スケジュール的にはですね、今観光、今10月から3月まで、それから4月から来年の10月ですか、その位の日程でですね、振興計画を策定するという計画にいたしております。それを一期二期に分ておるわけ、けれど、早速10月からその講演、今言いましたような講演をしていくという形をとりたいというふうに思っております。体制はですね一応観光総合部、今他の計画はですね、今特別委員会いろいろございまして、あるんですが、観光に関してはコンサルに投げるのではなくて、総合観光部自らが事務局として動くということをやりたいと。またそれにつきましてはいろいろと人選なり、人数も足りないところもありますけれども、そのへんうちの方で検討したいと思っております。

委員長（安富法明君） 私達を感じているのはですね、またあとで100周年の話も出てくるんですが、合併当初ということですから大変苦労が多いと思うんですけどもね、動きが遅いと感じています。何かやりながら時間が経つならいいですけども、何も考えずにこう時間だけが過ぎていく感じをちょっと受けてます。そういうことですね、敢えてどうなんですかというふうな投げかけをしました。今の

ところですね、はっきりした執行部としての工程は立ててないということになりますね。林副市長。反論が。

副市長（林 繁美君） 今の観光振興計画等策定についてですが、当初部長の方から話がありましたように、市長の政策、主な柱の一つです。観光事業がですね。だから市長の考えとしては政策的には大きな柱を持っておられます。ただ具体的な中身が見えない、執行部の方の考えが見えないということではありますが、まだその辺の政策的なものからその下の枝葉のところまで今協議しておいて発表する段階ではないということの一つご理解いただきたいと思います。それと今回議会の方で三つの特別委員会を設置しておられます。これで当然観光振興計画につきましては他の特別委員会、例えば交通の特別委員会、それと産業振興の特別委員会の方はまた観光農業という位置づけの話も出ております。だから一概にそれぞれ特別委員会、一特別委員会ですね、やはり一つのことを、方向性を出していただくのはいいんですが、やはりその辺のところの整合性をですね、これから調整していく必要があるかと思えます。また執行部はその辺の議会のご意見等を拝聴しながら計画を立てていくようになるかと思えます。今その段取りと言いますか、飛行機で言えば離陸の準備をしておるといってございまして、その辺ご理解していただけたらと思えます。

委員長（安富法明君） うちでは先行してですね、特別委員会なりの視察等を踏まえて委員の意見を十分にこう、どんどん出していったのでいいと、取り敢えずはね。執行部の方での動き併せて具体的な計画策定の中での議論をしていくしかないですね、現状ではですね。取り敢えずは委員会の視察等を踏まえて自由な委員会として、委員としての意見を出していったらいいと、言って欲しいと、そういうようなことなんです。議長。（発言する者あり）岩本委員。

委員（岩本明央君） 議長がおっしゃるとおりだと思います。私共が期待しておるのはですね、このスケジュール、表作成はいいし、こういう基本計画もええ、けど実際にはやらんにゃ意味がないんです。だからそういうふうなことでやって赤字を減らすなり、客を呼ぶ。計画だけじゃない、こういうのを作るだけじゃだめなんですよね。実際やらんにゃ、今副議長が言われたように商売で金が入るような方法でやって続けていくというのが執行部のあれで、スケジュール表を作って、ついあれを作ってちゅうのじゃ全く意味がないですよ。僕はその辺がね、僕も民間に13

年おって、公務員26年やって思うたけど、すごい差があると思うんですよ。その辺はもうちょっと理解してやられんと、ついこのあれを作って執行部がそれで終わりじゃなくて、その次からが一番大事な問題じゃないかと思えますんで、その辺をぜひよう理解して欲しいなと思えます。

委員長（安富法明君） はい、佐々木課長。

総合政策部企画政策課長（佐々木郁夫君） 先程来、まず総合計画の関係から申し上げます。総合計画につきましては現在ご案内のとおり業者を、作成の支援をしていただく業者を一応決めております。それからこれからの総合計画についての作業としましては、今からは今年度一杯でいろいろ情報を、資料を集めること、ということになります。これが概ねその今年度内、2月3月位までかかるかと思っております、結果が。アンケートなり、いろいろな調査のまとめが年度内までかかるかと思っております。

それと観光振興計画といいますか、じゃ、それまでどのようにするかということもあると思えます。こちらの総合計画の方の整合性というものはもちろんございませぬ。こちらの総合計画の方も基本計画があつて、基本構想があつて、それから実施計画とかそういう段階があるわけで、観光につきましてもその全体的に市内の観光をどうするかという大きなテーマから始まっていくべきだろうと思えますけれども、今岩本委員さんも言われますように、これまでたくさんのいろんな計画を作つてこられましたけれども、これまで作つてこられたその意図はとにかく、全体の構想から入つてという発想で動いておられたのではなからうかと思っております。確かに一番肝心な所はそこだというふうに思えます。これは間違いございませぬけれども、観光につきましてはもう少し見方が、やり方というか方法論があらうかと思っております。それは何つて言いますか、先程いろんな、具体的なご意見、アイデアと言いますか、そういうもの、それについての列挙すること、そしてそれもいつまでにそれを実行するかという、そういうアクションプログラム、これが現実が一番大事だろうというふうに思っております。先程来、委員さんの方から例えば秋吉台の方で気球を上げるとかいうふうな、一つの具体的な例もご提案がございました。そういう一つ一つをアクションプログラムの一項目として列挙して、それをいつまでにどのようにするというふうな実施のスケジュールという、そのような組み立てていくというか、形でいくべきではなからうかと思えます。そうすることによ

っていついつまでにはこれはできた、これはできたという一つの、主張できることが、これをやってきた、これをやってきたいというそういうふうな項目が発表できるという、その効果ももちろん検証する必要があるというふうだろうと思っております。こちらの総合計画としてはもちろん大きくはどのように観光を持っていくとかいうふうなことをご議論いただき、そして総合計画に盛り込むという方向でももちろん動くわけですけれども、もう一方のは具体的な形としての、日々何をしていこう、いついつまでやっていこうというあたり、その二つの方向性で取り組むべきであろうというふうに思っております。また、大きく言いますと、また大きな資金が要りますと、例えばシャッターで閉じられたお店がごいざいます。その関係につきましても、大きくは予算が伴いますので、全体の合意のもとで、それをいただいて動く必要があるかと思っておりますけれども、そのあたりの検討も今まで過去にはされてきた経緯がございます。そういうところもありますんで具体的にいつまでに何をどのようにするというそういう方向という、そのあたりを企画政策課としては一つ申し上げたいと思っております。以上です。

委員長（安富法明君） はい、今いろいろと執行部からの説明もあったわけですが、基本的には今から資料集めて、体制作りをしてということのようです。問題はですね、ハード部分とソフト部分があるかというふうに思います。恐らくソフトの部分ではあとで、説明を受けたあとに検討もできるんですが、既形形態をこのままにするのかと言いますか、あるいは指定管理のような形に持っていくのか、ハードの部分では今までできていなかった、委員さんから今出たような広谷の商店街の問題、中の照明等の問題、それから台上の問題、市内のそれぞれの施設のそれぞれの連絡経路の整備、それぞれの施設の充実、こういったのが膨大なものが出てくると思うんですよ。ですからある程度特別委員会で意見なり集約をしていきながら、財源的なものを、それこそ過疎計画が出てましたが、膨大なそのあれにどういうふうな形でどの程度対応できるのかというふうな大きな課題がどっちにしても出てくるというふうに思います。そのことを踏まえてやはり、執行体制が私は議長が言われることも当然だと思っておりますが、執行体制がある程度計画作りで動きながら、その中で財源的な要素も見ながら議会の意見に、委員会の意見に添えてきてくれないとなかなか言いばなしのような形になってくる可能性が高い、非常に、そういうことを思っております。

ちょっと一時間程度経ちましたんで、休憩をしたいというふうに、45分まで。

午前10時37分休憩

.....

午後10時47分再開

委員長（安富法明君） それでは会議を再開をいたします。今観光振興計画、執行部の体制等についてはですね上位の総合計画等の進行を見ながら今から資料等を集めながらですね作成をしていくということのようでございます。委員会とすれば当然今意見も出ておりましたように多くの課題が既に指摘をされてずっと出てきます。そういったもの、現地の視察等踏まえてですね、これからその総合計画含めて振興計画にですね、観光振興計画にどれだけ盛り込めるかということで膨大なものが出てこようかというふうに思いますけれども、全体を見てですね今よりは数段観光地としてのグレードアップが図れるようにということをございましょうから、そのように意見の集約をしていくという方向で行きたいというふうに思います。

それではですね次ですね秋吉台地域観光長期基本計画、これ旧秋芳町において作成をされたものです。合併前に急いで作ったということもあるわけですが、これについての概略の説明を受けてですねどこがいいのかどこが課題があるのかということをお聞き台になればというふうに思っておりますので、説明の方をよろしく願います。山縣部長。

総合観光部長（山縣博行君） 説明の前にですね、この計画の中にもずっと出てくると思うんですけど秋芳洞の名称でございます。秋芳洞、字としては「しゅうほう洞」と書きます。それでこれは大正15年に昭和天皇来られた時に、命名を、元々瀧穴というふうにあの洞は言っておったんですが、これが「あきよし洞」というふうな名前を頂戴をいたしまして、よしの字がですね仮名で「あきよし洞」というふうに名前をして、よしの字がですねどういふ字かということをお尋ねをしたら芳という字ということであつたらしい話でして、それからこれは秋芳洞と書きまして「あきよし洞」というふうに呼んでおります。また特別委員会の中で秋芳洞の名前をですね「あきよし洞」というふうにご認識をいただけたらというふうに思いますんでよろしく願います。それでは長期計画につきまして篠田課長の方で説明申し上げたいというふうに思います。よろしく願います。

委員長（安富法明君） はい、篠田課長。

総合観光部観光振興課長（篠田清実君） それでは秋吉台地域観光長期基本計画の内容につきましてご説明を申し上げます。この長期基本計画につきましては先程委員長さんも言われましたように、旧秋芳町が平成16年度から平成19年度にかけて取り組みましたまちづくり交付金事業の中で実施、策定されたものでございます。長期基本計画の策定にあたりましては平成18年の9月にまとめあげられております秋吉台地域観光長期ビジョン、この基本理念に則しまして地域住民を主体とし秋吉台地域の観光開発、魅力ある観光のまちづくり、持続可能な地域づくりを推進することを目的に作成されております。この秋吉台地域観光長期ビジョンにつきましては三つの基本理念を掲げて策定してあります。一つが秋吉台を自然に帰り観光開発以前の景観を取り戻す、二つ目が秋吉台上の人工物は必要最小限に止め不必要な物は計画的に撤去しまたは移転する。そして三つ目は観光の賑わいは広谷地区を中心とした周辺地域に集約編成することとなっております。秋吉台地域観光長期基本計画はその理想を実現するためにエコツーリズム関係者、観光協会関係者、商工会JC関係者、女性団体連絡協議会関係者、JA農林業関係者、そして住民一般公募関係者など多くの住民の参加を求め100人会議を開催し住民から多くの意見や提言が寄せられております。その意見や提言を機能別に整理し計画を推進するための基本計画において五つの長期基本方針を設定しております。その五つの基本方針ですが、一つが営業的機能、二つ目が環境的機能、三つ目が開発的機能、四つ目が情報的機能、そして基本方針の五つ目として人材的機能があげられております。長期基本計画ではこの五つの基本方針を具現化するために本計画の柱になります秋吉台フィールドミュージアム協会、これは仮称でございますが、この設立が提案されております。秋吉台フィールドミュージアム協会の設立の目的につきましては三つのことが掲げられております。一つが新市の観光振興と回遊促進があげられております。二つ目として秋吉台地域の環境の保全があげられております。そして三つ目として観光と地域経済のシナジーがあげられてるところであります。また秋吉台フィールドミュージアム協会の役割につきましては先程述べました五つの基本方針を具現化することを役割とし、それを実現するために営業部門、環境部門、開発部門、情報部門、そして人材部門を設置することとしております。また公園管理団体として秋吉台地域の観光と環境の管理運営を全般的に受諾し、地域の多くの団体や行政と連携し、協力と調整する住民主体のマネジメント組織としてNPO団体もし

くは公益法人の民間組織として設立することを目指しております。またこの長期基本計画の中には資料として秋吉台地域の観光資源の調査が実施されております。旧美祢市・美東町・秋芳町における多くの観光地の調査や観光施設の活用状況調査が実施されております。また100人会議に参加いただきました約130名の皆様方の貴重な意見や提言も取り纏めてあります。今後の新美祢市の観光振興計画を策定するにあたり大切な資料になるものだと思っております。簡単ではございますが以上で地域基本計画の概要説明を終わらせていただきます。

委員長（安富法明君） ただ今の課長のほうから説明があったわけですが、簡単すぎてちょっとわからなんでしょういね。簡単すぎてこう何かご意見がっていうてもわからなんでしょうが、（発言する者あり）今村上委員のほうからの発言ですが、基本的にですね、今日が第1回目ですからいろいろな意見が出たうえでですね今後の進め方を検討するっていうのが第一の目的ですから。（発言する者あり）基本的にはですね先程申し上げましたように新市において観光振興計画が作成をされることになっております。この特別委員会が意見なり本市の観光の現状を、視察をしながらですね課題を取り上げて、こうあるべきであろうというのを集約して提言をします。それが振興計画の中に反映を、今意見がありました反映できるんかいのっていうのもあるんですが、ある程度財源との、これは副市長が先に言われてしもうたんですが、財源との関係もあります。当然自主財源でできるような話にはならないと思います。ですから過疎債あるいは県の補助とかですね最大限、国もあろうと思うんですが、そういったところの財源の確保もみあいではですね、どれだけこの特別委員会の意見が入れられるかというこれが課題だろうというふうに思います。ひとつも入らんかったというのじゃ何の意味もありません。（発言する者あり）今村上委員からこの観光振興特別委員会の位置付けをもうちょっと何といいいますか、的を絞った集約したものにしないとなかなか難しいんじゃないかという意見でございます。この件に関して議長のほうから何か意見があるようですので。議長。

議長（秋山哲朗君） 特別委員会ですからですね、第1回目が視察をしてもらったということでやはり現状の認識がどうであるかということをもずしていただいてですね、これ問題点が何があるかと。将来的にはこうしていただきたいというですね、要望をあげるべきだというように思っております。だからいろいろな問題点、そしてこうしていただきたいという点をですね、数多くあげていただいてですね、

これとこれは最低やっていただこうと、取り入れていただこうということがですねこの特別委員会ではないかなというように思っておりますので、そういったことで議論していただけたらと思っております。（発言する者あり）

委員長（安富法明君） 今議長、それから村上委員からの意見ですが、この件に関してですね他の委員のご意見がありませんでしょうか。徳並委員。

委員（徳並伍朗君） この資料を見たらですね、秋吉台地域観光長期基本計画の目標設定ということで各事業計画を実現していくための中期目標が5年先というふうに書いてあります。そねえなそ今やったってどねえもならんわけいね。はっきり言ってですね。中期として5年ですから長期とすりゃ10年ぐらいかかるじゃろうということでありますから、こういう資料を見てやるよりは実質今何が大事かというのを目的にしてやらなければならないし、また将来的に何が大事なかということも考えてやっていかんやいけんというふうに私は思いますね。先程も言いましたように、たびたびかもしれませんが化石館、歴史民俗資料館、それから科学博物館これなんかは逆に美祢市でできんにゃあ県にやってもらいたいというぐらいのですねお願いをするような方法で行けばいいんじゃないかなというふうに思いますけどね。

委員長（安富法明君） はい他に。はい、河村副議長。

副議長（河村 淳君） 私はね、もとちょっと発想があったんじやが、先程議長もちょっと何かその辺の関連みたいなことを言われたようなが、秋吉台にねヘリポートをやってね、ヘリコプターでやってね、遊覧させて、萩までの観光ずっとやらすとかこういう方法がひとつ提案があったの昔、美東町じゃ。それをやるには財源の問題があるぞ。車で通るだけで山ん中ごそごそ歩むよりはいっぺん台山の中ぞーっと上からヘリコプターでずーっと遊覧させてやるってみるとええんじゃないかという発想はあった、昔。それとか山と山とのケーブル通すというようなものも発想あったですよ。あくまでもこれは国県補助か何かもらわんにゃ市だけでできるもんじやないから。その辺のある程度県内等もあたって、執行部のほうは何かのええ国の補助、国県補助があるならそれが一番ええ。それから大学の地質学の、大理石等の石が出るからあそこへ大学持ってこうというような話もあった。東京へ行ったこともある。こういうような学識的な要素もあるんじやからそこは実際に、そこへ材料があるんじやから国際大学持ってくると、こういう発想もあったから、そういうこ

とをもう一遍よう検討、執行部のほうが考えてみてもらいたい。一応、できるだけ別として。

委員長（安富法明君） はい、布施委員。

委員（布施文子君） 先程村上委員さんの意見で最初に戻ってきたと思って、初めにこの会何をするのか、いつまでに何をするのか、どこにポイントを置くのか、何を目玉にして私たちは提言をしていくのか、市民は何を求めているのか、そういうようなことを私どもは提言をしていくのではないかというふうに思います。だから当然これは総合計画の中の一部に出てくるはずですよ。だからこれを今この会で検討することは無駄というかとても大変なことでやれるものではないと思いますので、私も今そのように方向付けをきちっとして話し合いをしていっていただきたいというふうに思います。

委員長（安富法明君） はい、一応ですねひとつの資料といいますか、この中でですね大きなテーマがあるんですよ。先程ちょっと言いましたようにフィールドミュージアム協会、仮称ですけどもこういうものをつくってですね、要するに管理運営をそちらに移すちゅうようなことが書いてありますね。ですから指定管理っていうふうなことでですね。今直営ですか指定管理にするかっていうことなんですが、そういうことでそれぞれの施設が委託をされたり直営でされたりっていうようなことになってます。以前からいろいろ議論はあるんですが、経営をですね任せたいほうがええんじゃないかっていうふうな意見が実はあるんです。そういうふうなこともひとつの大きなこう将来的に、今まで職員でやってたものがそれでいいのか悪いのかひとつ経営の形を変えるべきではないか、これはソフト部分のひとつあると、あとは大きくはハード部分で、今村上委員のほうからも盛んにあれが出てましたように、今日は今後の方向付けを委員会の進め方をどうするかっていうことがひとつのまたテーマですから、言われるようにですね何点かに絞るとか、あるいは市内のある程度の主要観光施設は何と言うんですかね、巡回できるようなあるいは滞在型のっていうふうなこともひとつのテーマになるのかもしれない。あくまでも秋吉台、秋芳洞だけでは新市の観光の全体を見ることはできんじゃないかもしれないし、それで行こうじゃない、とりあえずあそこだけの充実強化を考えるっていうふうなことも悪くはないと思います。ですから的を絞ればですね議論もしやすいし、確かに予算も取りやすいだろうと思いますし、いろんな面では利点はあると

思います。（発言する者あり）村上委員マイク使ってくださいって。はい、荒山委員。

委員（荒山光広君） 今この特別委員会のあり方といいますか、その辺に戻ってきてますけども、秋芳洞、秋吉台を中心とした地域のそのものの活性化ということと、新市としての全体的なもの見方といいますか、二通りといいますか、あると思うんですけど、片方ではハードの面で先程出ております資料館とかその辺のこともあるでしょうし、またソフトの面で言いますと各旧市町です、いろんな季節のイベント等もあったと思うんですね、その辺もひとつ通年でですね美祢市の新しい美祢市の観光というとらえ方をしなければいけないと思うんですが、特にこの夏ですね、旧美祢市で言えばアンモナイトフェスティバルというひとつの大きなイベントがありますし、また秋吉台の観光まつりですか、花火を中心とした観光まつりもあります。実は旧市内の業者、事業所もですね、お金のこと言ったらなんですけども、観光まつりでも寄附のお願いに来られる、またアンモナイトでもですね寄附のお願いに来られる、どねえしたらええかというふうなですね、旧美祢市内での事業所の話も実はあったわけなんですけど、今後ですね、近いことを言えば来年の4月ですか、美祢市の桜まつりというものも予定をされております。計画ではその桜まつりの中でですね、新しい市章とか木でありますとかその辺の発表もしようという計画もあるようなんですけども、今それぞれですね、旧体制で運営されていると思います。これは合併当初ですから仕方ないと思いますけども、その辺もですね、美祢市全体のイベント、集客ができるイベントその辺をどのように育成していくのかということもこの特別委員会で協議していくのかどうか、その辺もですね、何本かの柱のひとつに入れていかなければいけないというふうに思います。この観光長期計画の中に5つの部門がありますけども、今言うのはその人材部門というところにも関わってくると思うんですが、聞くところによりますと秋吉の観光まつりは行政の方が中心となっていていろいろ進めておられたと、かたや美祢で行われておりましたアンモナイトフェスティバルは実行委員会をつくってですね、ある程度その民間のいろんな方団体等が実行委員会をつくって過去運営をしてきたということがございます。秋吉の観光まつりも今の状態で過去盛大にやっけてこられたのでいいかとも思いますけども、う少しその辺の民間のいろんな知恵とお金を入れてですね今後やっていくのか、そういった美祢市全体としてのですねイベントの取りまとめといたら

あれなんですけど、どっかそのコーディネートする部門がいるんじゃないかなというふうに思っております。他の地域で言えばですね、こういった観光イベントとかいうのはその地区の商工会議所であったり、商工会であったりあるいは観光協会であったりというところがいろんなコーディネートで年間のものを運営しておられるところもあるようですけど、旧美祢市・秋芳美東地域の中ではですね、そういった総合的なプロデュースをする部門が行政としてはなかったと思いますし、また行政としてやるのがいいのかどうかはこれまた別の問題ですけど、どっかでですね観光ということが余所から人を呼んで美祢を見ていただくということでしょうから秋芳洞、秋吉台を含めたそういったすばらしいものがあるわけですので、いろんな仕掛けをやっぱり作ってですね人を呼び込むということが大事だろうというふうに思っております。そういった意味で今から新しい仕組みを、仕掛けを作っていけるような組織づくりといいますか、そういったことも視野に入れてですねやっていかなければいけないんじゃないかなと、それがこの委員会で協議できるものなのかどうなのかですね、その辺も含めて皆様のご意見もお聞かせいただきたいなと思っております。以上です。

委員長（安富法明君） 今、荒山委員からのご意見があったわけですが、他の委員さんいかがでしょうか。今、荒山委員さんの意見に対して、なかなか難しいと思うんですが、基本的にこのような形での部分が出てくると今のような漠然としたといえますか、大まかな意見を提言するような形にしか私はならないと。それより掘り下げるようになると今の振興計画なりの中での執行部の考え方とかあれをですね一緒に議論をせんとなかなか充実したものには、委員会の中での意見でのなりようがなかなかないかなと、並行して進んでるとある程度その辺の答えが執行部の方から問えばかえってくるような状況に、平行に動けばね私はそういうふうな感じを持ってましたので最初そういうふうな言い方をしました。とりあえず、いずれにしてもソフトの面、ハードの面である程度的を絞りながら意見を集約していかざるを得んということはあると思います。膨大なおそらく気付きや要望あれが出てくるだろうというふうに思いますが、とりあえずはですね、残りの部分の視察等をやりながらおそらく2日とか3日とかかかるんじゃないかというような感じを持っておりますが、その中で意見を出していただいて、それでどれぐらいのその何て言うんですかね、改善をあるいはしていくべきじゃないかなというふうなものが出てくるか

も、じゃあですね今の一応ですね、一つですね参考に、叩き台にはなるんじゃないかということで秋吉台地域の観光長期基本計画の説明をいただきましたが、内容的にはちょっと十分ではなかったといえますか、説明からして十分な議論ができなかったかなというふうに思うんですが、ハードな部分はこれには出てきません。ソフト部分で特にフィールドミュージアム協会、これからのツーリズムといえますか、新しい観光の形態とかが重点的に書いてあるような、あれとかですね中に個々の問題で地元の一点一品というんですか、ああゆうふうな感じの地元業者というんですか、観光事業を営まれる方等の課題、目標するような時間的なスケジュールとかも出ておりますからですね、また是非見ておいていただけたらと思います。それではですね一応時間もだいぶ経ちましたので、特に委員の皆様から特別な意見がなければその他の部分に行きたいと思うんですがいいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） じゃあですね。その他に書いておるんですが、実は来年が秋芳洞の開洞100周年ということになっております。これは議案として出てきました過疎計画の中にも1,000万円だったかな予算がついて、一応そういうことがあれをしておりますが、内容的に一つの大きなイベントとして100周年ですから、何周年というのは1回しかないわけですから、それに向かってどういうふうな取組みが計画をされてるのか、現状がどうなのかということもおそらく総務委員会でも話が出たんですが、来年ですからかなり何かが進んでないと遅いんじゃないかという感じがしております。これに対して執行部の方での対応なり現状についてお答えができればしていただきたいというふうに思います。はい、篠田課長。

総合観光部観光振興課長（篠田清実君） 今委員長さんから言われましたように秋芳洞が来年100周年を迎えるわけでございます。明治42年に開洞いたしましてそれから100年、私たちも100周年記念に力を注ぎたいということで今現在の状況では実行委員会を設立するための規約や委員さんの選考を行うとともに、この100周年記念が100周年を銘打って全国に発信できるような何か取組みがしたいということで、100イベントという考えの中でいろんな取組みをできたらと考えております。具体的な内容につきましては実行委員会の中でご検討をいただくということで考えております。

委員長（安富法明君） 具体的にですねまだ内容が説明できんわけいね、何か主なもの何か。

総合観光部観光振興課長（篠田清実君） 具体的にはですね、主になるイベントにつきましては毎年やっております秋吉台の観光まつり、この辺が主な大きなイベントにはなるんじゃないかと考えております。期間的にはですね、7月の18日から10月末ぐらいの観光夏祭りから10月の終わりにあります秋吉台カルストウォークこの辺の期間を考えております。

委員長（安富法明君） 一つですねお聞きしたいんですが、洞内の保護といいますか、の関係で照明を変えようということで今やっていますが、そういうふうなものを一部でも間に合わせるといふか、そういうことは考えてないですか。はい、篠田課長。

総合観光部観光振興課長（篠田清実君） 今ご指摘がありました、先程言いましたように委員会に諮るといふことで具体的には言わなかったんですが、洞内の照明、今LEDの実験を10月まで行ってあります。これにつきましては一応環境に優しく、そして消費電力もともなったエコ対策にも還元できるということで、来年度からLEDには取り組みたいと思っております。これが100周年記念の銘打つ中の一つではあるんですが、それが100周年の事業としてのではなく100周年を銘打った施設整備ということで考えております。またこれも通常の洞内音声案内がございますが、これにつきましてもサインシステムを日本語だけでやっておる案内を韓国語、中国語、台湾語、英語に対応できるものも検討していきたいと考えております。そして周辺地域でございますサインシステム看板ですが、この辺についても100周年を迎えるにあたり新たにきれいにしていきたいと考えております。またこれもすべて執行部、観光で考えてるものでございますが、秋芳洞、秋吉台地域につながっております国道、県道、この周辺におきます公道に秋芳洞地域にお越しただけのお客様のおもてなしの花壇設置というようなことも頭の中では考えているところであります。

委員長（安富法明君） 概略説明を受けましたが、何かご質問がありますでしょうか。よろしいですか。よろしいですか、副議長。（発言する者あり）それでは一応そういうことがあるということで、そういうことも兼ね合わせて現地視察等重ねられる中で、する中でまた気付きがあろうかと思っておりますのでよろしくお願いを

いたします。次の前回の視察で十分に見ることができなかった施設等については先程お話ししましたように意見が出ておりますので、今後日にちを選びながら時間がかかっても見ていくと、それでまた意見を集約していくということにしたいというふうに思います。それからあと、今日特別委員会の参与の皆さんは、市長それから総合政策部と総合観光部にお願いをとりあえずしておきました。議論内容によりましてはまた他の部にもお願いをしなくてはならないと思います。その都度関係の部署の方に皆様等に聞いてみたいということがおありでしょうから事前に、特に道の駅等は係が違いますし、道路の関係もそうでしょうし、いろいろあるかと思しますので、その時はそれなりの参与の皆様方をお願いをしたいというふうに思っております。それでは最後に総括的に皆様方からのご意見なりがあればお聞きしたいというふうに思います。はい、荒山委員。

委員（荒山光広君） さっきの話に戻るんですけども、この委員会で今日いろんな問題点意見等が出たと思うんですけど、何か一つ次の委員会に何について深くやるのかと、例えば今すぐに手をつけなくてはいけないところはどこなのか、例えば広谷商店会といいますか、地区の活性化についてよく言われるのが冒頭で言いましたように洞の中を一方通行といいますか。一方通行じゃなくて往復して、また広谷に出ていただくと、黒谷の市道の方は閉じてしまえというふうな意見もたくさんあるわけなんですけれど、その辺が具体的にできるのかどうなのか、そしてまた広谷商店会の入口に鬼笑亭の大きな建物があるわけなんですけども、その辺の対策ですとか、いずれにしても集中的にこの地区をどうするんだとか、こういった問題に対してどうするんだという一つのテーマをですね、広いんですけど何か的を絞ってやらないと結論といいますか、方向性が出てこないと思いますので、次の委員会でこういったことについて具体的な話ができるのかどうなのかですね。

委員長（安富法明君） わかりました。はい、布施委員。

委員（布施文子君） 今の荒山委員さんの意見に賛成です。今日の話合いではどうも先が見えてないという気がするんですね、次に何をするのか。これをどうしていくのかというのが分からないし、先程私はこれを否定したわけではありませぬ。だからそれを私たちのやっっていく中で必ずこれが出てくるというふうに考えます。だからこれだけをずらーとするのではなくて私たちの行く先々でこれは必

ず読ませていただいて検討もしていただくという意味でございますので、その辺誤解のないようにお願いをします。

委員長（安富法明君） 岩本委員。

委員（岩本明央君） これお願いも一部入っておりますが、今ご意見がありましたことに関連いたします。といいますのは今日ですね今日のこの会議、特別委員会これいろいろありましようが、できれば開催通知を事務局なり委員長さんから欲しいわけ、というのは普通常識的に考えた場合、会議をやると何月何日、時間、日時、場所、協議事項の内容、例えば会議の内容はこういうものを、今言われたように話し合いますよとか、現地調査しますよとか、そういうようなことを言ってもらわんと何の会議、それは確かに当初の話し合いにありました、観光の特別委員会の設置もありますから、これ分からんことはないですよ。そういうことはこれからも出してもらわんととてもじゃないが分からんのですよね、脳ないものは、頭の悪いものは、是非してほしいと思います。途中来てないと思うんですがね。文書なくしたかもしれないけど。

委員長（安富法明君） 事務局から答えさせます。

議会事務局係長（佐々木昭治君） 失礼いたします。先程の特別委員会のご案内の件ですけれども、会期中につきましては議会運営委員会終了後に会議予定表と一般質問順序表を送付しております。それを持ってこれまでは会議の予定、時間等をご通知申し上げてという形をとっておりますので、もし議員皆様方の方からするということになりましたら、発送の方はさせていただきます。（発言する者あり）

委員長（安富法明君） よろしいですか、基本的にはですね所管事務調査等になるかと思うんですが、今事務局が言いましたように会期中はそれぞれのあれがありますので、諸般の連絡でもあろうかと思っておりますので、それでやっていただけたらというふうに思います。拘束されますからね。閉会中にあたっては当然案内は出します。（発言する者あり）内容については大まかになるかとは思いますが、あまり詳しく書いてもこの前も当たりませんでした。（発言する者あり）そうですね、それは前回のあれで見れなかったところが、かなりあるんですよ、大正洞、景清洞、ここに出てるんですよ。（発言する者あり）それもですねもう一度これ前回の持つておられませんか、前回の視察の（発言する者あり）ただですね思ったより時間がかかるんですよ、廻りよるとですね予定どおり行かないんですよ。基本的にこ

ここにお配りした資料の中に地図とともにこう書いてあります。それでですね、できればですね皆さんからご希望を伺っておけば、それでよければ任せていただければいいですが、前回の残りを重点的に、ルートもありますんで、ルートをある程度順を追っていかないと時間ばかりかかってなかなか見れませんので、説明を受けるとんでもなく時間がかかるんですよ。でも説明を受けないとなかなか見る意味もないですから、その辺任せていただければ、正副委員長で検討させていただきます。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） はい、山中委員。

委員（山中佳子君） 私たち秋芳町の議員は秋吉台地域観光長期基本計画に最初から携わってまいりまして完成まで見ております。今日皆さんこれ初めて見られた方もあると思いますけど、どうぞもう一回よく目を通していただきまして、ぜひ他の旧美祢郡美東町・美祢市の出身の方々がこれを見てどのように考えていらっしゃるかという意見も私は聞きたいと思います。そしてやっぱり観光振興の特別委員会ですので、これを離れては絶対に話は進まないと思いますので、他の観光地も現地調査された後も必ずここに帰っていただいて、この秋吉台地域についてしっかりこの会は協議していただきたいと思います。

委員長（安富法明君） 他にございますでしょうか。はい、下井副委員長。

副委員長（下井克己君） 先程も皆さんが言われているように、次の委員会をやるのはいいんですけど、何について話すか具体的な、例えば広谷商店街でもいいですし、秋吉台上についてもいいんですけど、そういうのをちょっと決めておったらどうでしょうか。それとこれは別件になりますけれど、入洞状況がありますけれどこれの入洞者数というのがありますよね、これ実質の入洞者数ではないですよ。その実質入洞者数を入れてもらった方が分かりやすいんじゃないですかね。要するにお金は何ぼ入ってるかこれちょっとじゃから、この人数になってるわけでしょうけど、お金の方はどちらでも、どちらでもとっちゃいけないですけども、やっぱり何人はいっとてか知りたいんじゃないですかね皆さんは、と思いますが。山縣さん説明をお願いします。

委員長（安富法明君） 山縣部長。

総合観光部長（山縣博行君） 今の入洞状況説明ですが、この入洞者数は実数、現

金が入った、秋芳洞通ってその日に現金が入った方の人数です。確認証というのがございまして、団体で来られる所はチケットで入られるというふうなものがございまして、それは月末に支払いがあったり、翌月の末に支払いがあるわけですけどその人数はこの中に入っておりません。だからそういうふうな形で全体的には最終的には人数を入れた数字をお示しをするわけですけど、途中のこうした月々の入洞者数あるいは観覧料といったようなものについてはそういうものを承認しておりませんが、またそういうものが必要といわれるのであれば、そういうのもですね一つ表を作ってお示しをしてもよろしいというふうに思いますが。

委員長（安富法明君） 部長どれぐらいな、これ入洞者数が現金を伴わない実際の部分は何人ぐらいおるのか。把握できてない。（発言する者あり）どのぐらいなわけ実質的には。

総合観光部長（山縣博行君） 月々によって違います。

委員長（安富法明君） 違うちゃあ、現実累計でどれくらいこれから、今マイナスで1万5,000。

総合観光部長（山縣博行君） 1万5,000です。今現実には1万5,000のマイナスになっておりますけど、9月の中頃で戻しておりますので、ディステーションキャンペーン等イベントやっておりますので、それとか三洞物語というふうな形でやっております。そういうふうなのを含めまして今1万ぐらいに戻っておりますかね、そのくらいですから最終的には昨年並みというふうな予測はしております。

委員長（安富法明君） はい、議長。

議長（秋山哲朗君） 前年度で1万5,000減ってるということなんですけども、この営業活動ですよ地域、例えば関東の方、関東の方の学生というか、小学校、中学校がこちらに来ないということをよく聞いているんですよ、そういった営業をどういうふうに考えておられるか。営業活動を実際に、例えば学校に行くとか、行政に行くとか、営業活動をしておられるか、おられないのか、今後そういう予定があるかどうか。

委員長（安富法明君） 山縣部長。

総合観光部長（山縣博行君） 営業活動はですね集中的に関東の方にはやっております。この10月1日にこれも羽田空港で広報宣伝といいますか、そういうのを

うちの職員が直接行って行っております。2、3日おいて九州の方へまた出かけたりしております。今後そうした営業活動をどんどんやっていく、これはうちだけではなくっていろんな長州路の観光協会、長州路といいますのは下関とか萩とか長門とか一緒になっているわけですけど、それとか長門路、美祢・長門・萩、それとか県の観光連盟、これと一緒にこういう宣伝活動をやっております。これからもどんどんやっていかななくてはいけないというふうに思っておりますけど。

委員長（安富法明君） よろしいですか。山縣部長にお願いしたいんですが、年間の集客のなんて言いますか、スケジュールとか何とか、今年の分があるんじゃないですか。ないわけ。（発言する者あり）過ぎた分も含めて今年はどういうことをやりましたというのではないの。（発言する者あり）今度持ってきて。どういふふうな営業活動してるかというのが分からんそいね。それを見せていただければ十分か、十分でないかという話にもなるうかと思うんですよね。そしたらもう少しこうしたらいいのではないかと。一方的に言うただけじゃあ。

総合観光部長（山縣博行君） 営業活動なり、そうした年間のスケジュールなり、そういうものが、また皆さんにお示しをしたいというふうに思いますので。

委員長（安富法明君） それでは他に。はい、下井議員。

副委員長（下井克己君） 今営業のことが出ましたので一つ委員の皆様を知っていただきたいのですが、全国の自治体があつてその中で千ちよつとの自治体が小中学校向けに観光テキストというのを先生方が作っておられるそうです。これは予算の方は国交省の方から出ておりますので、現在教育委員会の方にはまだお話しは聞いてないんじゃないかと思うんですけど、観光テキストというのは例えば美祢市であれば美祢市の小学校5、6年生と中学1、2年生ですか、その子たちに地元にはどういふ観光があるかというのを勉強させたのをテキストだそうです。当然修学旅行等の時には目的地の方へその観光テキスト、先生方がもらつて子どもたちに勉強させることもできるそうです。ということはこちらへ来る修学旅行生は美祢市の観光テキストを向こうへ送るといふそういう手続きもいろいろ今からされていくそうなので、この観光テキストということについて今から皆様方お話しがあればご協力の方お願いしていただきたいと思ひます。以上です。

委員長（安富法明君） 今の話執行部の方分かります。分かります。

総合観光部長（山縣博行君） これは10月1日から観光省というのができることになっております。その一つのパンフレットと申しますか、の関係で下井委員がおっしゃったように全国で1,800ですか、そういうどの市も一つは小学生向けのパンフレットと申しますか。テキストを作ったということでTOS Sという団体、先生方の全国的な組織らしんですけど、それでまだはっきりと表面には出てないんですけど、これからそういうものが町村にあれば修学旅行で誘致をするその先に前もって送るとかですね、こちらに修学旅行で見学に来られるところへ送って事前に学習をしていただくとか、そういうふうな資料として今後活用ができるんじゃないかなという話はしておりますけれども、そうした形で今後活用していきたいというふうに思っております。

委員長（安富法明君） 分かりました。把握はできちよるわけね。それでは他に。はい、布施委員さん。

委員（布施文子君） 先程からの意見で、とにかく仕掛けを作って人を呼び込むんだというコーディネートするところ必要なんだ、行政の方だけでやられるアイデアと違うものがいっぱい出てくると思うから、人を使うということ大事じゃないかと思しますので、そのことは先程のご意見と同じなんですけど、もうすぐそく観光シーズンも始まります、しすばらしい秋吉台のすすきも見ることができますので、とにかくそういう人を呼び込むことをたくさん努力をしていただきたいと思えます。

委員長（安富法明君） 分かりました。時間も大分経過しましたんで、最後にですね先程から出ておりますように次回は現地を、前回漏れたところを重点的に回ります。重点的に議論をすべきこと、ということで皆さんの中でご意見があれば伺っておきたいというふうに思えます。 村上委員。

委員（村上健二君） 今みんなが言われるようにだいたいの話が秋芳洞と秋吉台のことやったと思うから、それなりの意見を考えてまた執行部の方のいろんな意見も聞いてそういう会議にしましょうや。あらかた秋芳洞と（発言する者あり）経済ベースを含めてものを考えてちゃんとして、何か具体的なことをやらんにゃあ意味がない。こういう設備を作りたいよとか、執行部はできません。財政もできませんとか、そういう議論ができるようにものをせんにゃあ議論の意味がない。

委員長（安富法明君） 今村上委員から秋吉台、秋芳洞地域をまず重点的に議論を

しょう。おそらくその他についても広げていかななくてはならないでしょうけど、とりあえずはそれでいって、問題点こうするべきではないかというふうな、課題はいっぱいあるんですが莫大な予算がおそらく必要になってくる。だから執行部もそういうものは可能かどうかというふうなところも入れながら、例えば民間の倒産した家屋をどうすれば片付けられるかというふうなことは、ただ出しただけでは、執行部からある程度そういうふうな質問に対してこうすればある程度できますとか、それはできませんとかいうことがかえってこない。（発言する者あり）やれんからね。その辺がある程度（発言する者あり）無理でもやってくれというのは出ると思いますけど、特によろしいですか、課題とすれば、ですから次はとりあえず現地に行きますので、時間がいっぱいになれば議論の時間はないかもしれません。そういうことで次に議論するのは秋吉台、秋芳洞を一つのテーマとして視察も今度景清洞等も行きますんで、含めてその辺を見ていただいた上で、前回見ていただいた全体を含めてたくさんあるかというふうに思いますんで議論し、いいいただきたいというふうに思います。よろしく願いを申し上げます。よろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

委員長（安富法明君） 以上もちまして、第2回の観光振興対策特別委員会を閉会したいというふうに思います。お疲れでございました。ありがとうございました。

午前11時50分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成20年9月12日

観光振興対策特別委員会

委員長

安富法明